

## クイックガイド

燃料 無鉛レギュラーガソリン



安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に  
本ガイドと WEB 取扱説明書を必ずお読みください。  
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は  
WEB 取説を  
ご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。  
どうぞご理解ください。



## 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

**警告**

この表示の欄は「**死亡または重症を負う恐れがある**」内容です。

**注意**

この表示の欄は、「**軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある**」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

**警告（製品に係る安全事項）****禁止**

本機は、除雪をする機械です。指定された用途以外には使用しないでください。

燃料の臭いがする場合、運転をしないでください。爆発の危険があります。

しめきった室内や換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。

エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。

エンジンが熱いうちは、給油しないでください。

燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。

運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。

改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。

**強制**

周囲の動植物等に排気ガスが当たらないように注意をしてください。

給油時は、付近にタバコ等の火気が無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。

給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。

給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。

給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災を防ぐため適切に処分してください。

燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。

燃料タンクキャップは確実に閉めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。

始動前点検を実施してください。

## ⚠警告（製品に係る安全事項）

|                                                                                                           |                                                                        |                                                                                                            |                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| <div></div> <div>禁止</div> | 正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。                                    | <div></div> <div>強制</div> | 本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。                                   |
|                                                                                                           |                                                                        |                                                                                                            | 可動部分の位置及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。         |
|                                                                                                           |                                                                        |                                                                                                            | 運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。                                             |
|                                                                                                           |                                                                        |                                                                                                            | エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。                                 |
|                                                                                                           | 未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。                                           |                                                                                                            | クラッチレバーを握っていないときは、オーガが回転していないことを確認してください。                            |
|                                                                                                           |                                                                        |                                                                                                            | エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。 |
|                                                                                                           | 成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。                                 |                                                                                                            | 使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。                         |
|                                                                                                           | 回転しているオーガに接触すると負傷または死亡する恐れがあります。                                       |                                                                                                            |                                                                      |
| 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。                                                | 点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。              |                                                                                                            |                                                                      |
|                                                                                                           | 点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。    |                                                                                                            |                                                                      |
| 運転中は絶対シュータやオーガハウジングを覗き込まないでください。                                                                          | 破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。 |                                                                                                            |                                                                      |
|                                                                                                           | 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故・怪我の原因になることがあります。               |                                                                                                            |                                                                      |
| 点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。                                                               | 自動車で運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることがあります。             |                                                                                                            |                                                                      |
|                                                                                                           | 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。                             |                                                                                                            |                                                                      |
| デッドマンクラッチを紐などで固定しないでください。                                                                                 | 子供の手の届かない安全な場所に保管してください。                                               |                                                                                                            |                                                                      |
|                                                                                                           | ご使用前にこの説明書をお読みにになり取扱いの注意事項をよくご理解の上で使用ください。                             |                                                                                                            |                                                                      |

## ⚠注意（製品に係る安全事項）

|                                                                                               |                                    |                                                                                                |                                              |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| <br><b>禁止</b> | 古い燃料は使用しないでください。                   | <br><b>強制</b> | 燃料は無鉛レギュラーガソリンを使用してください。                     |
|                                                                                               | 安全保護装置であるガード及びカバーを取外して運転をしないでください。 |                                                                                                | 定期的にエンジンオイルを交換してください。                        |
|                                                                                               |                                    |                                                                                                | 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。              |
|                                                                                               |                                    |                                                                                                | 使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。 |
|                                                                                               |                                    |                                                                                                | シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。                  |
|                                                                                               |                                    |                                                                                                | 部品交換は、純正部品を使用してください。                         |
|                                                                                               |                                    |                                                                                                | 定期点検整備を行ってください。                              |

## ⚠警告（作業に係る安全事項）

|                                                                                                 |                                                   |                                                                                                  |                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br><b>禁止</b> | 身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。 | <br><b>強制</b> | 雪が降る前に運転区域内の木片、缶、ホース、線材、ロープ及びその他の異物等をすべて除去してください。                                        |
|                                                                                                 | 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。             |                                                                                                  | ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業をしてください。                                                             |
|                                                                                                 | 運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。        |                                                                                                  | 運転中は、排気ガスに十分注意してください。                                                                    |
|                                                                                                 | ご使用時は、使用者から 15m 以内は危険です。人やペットが入らないようにしてください。      |                                                                                                  | 建物、自動車及び破損の恐れがある建造物の周囲で除雪をするときは、それらの方向に排出された雪が当たらないようシュータの方向、シュータデフレクタの角度を調整して運転をしてください。 |
|                                                                                                 | 運転区域には、全ての人、幼児、子供、ペット等を入れないでください。                 |                                                                                                  | 停止中でも、オーガに触れないでください。怪我をする恐れがあります。                                                        |
|                                                                                                 | 人にシュータやシュータデフレクタを向けないでください。また、除雪機の前方に人を入れないでください。 |                                                                                                  | 適切な時期に休憩をとってください。                                                                        |
|                                                                                                 | 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。                    |                                                                                                  | 万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。                                                          |
|                                                                                                 | 砂利道は石が飛び出すなど危険です。除雪しないでください。                      |                                                                                                  | 本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。                                                              |
|                                                                                                 | 雪の中に石が混入していると遠くまで飛ぶ事があるので十分注意してください。              |                                                                                                  | 移動するときは、オーガの回転を止めてください。                                                                  |
|                                                                                                 | オーガ、シュータ、顔、手足、衣服などに近づけないでください。                    |                                                                                                  | 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。                                                     |

# 警告（作業に係る安全事項）

|                                        |                                     |                                        |                                                                                                                         |
|----------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div> <div></div> <div>禁止</div> </div> | 傾斜面を横切って除雪しないでください。                 | <div> <div></div> <div>強制</div> </div> | 除雪部が異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、除雪機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ除雪機を再始動しないでください。 |
|                                        | 坂道での除雪や停車はしないでください。                 |                                        | オーガハウジングやシュータなどに詰まった雪を取除くときは、エンジンを停止し、誤ってエンジンがかからないようにしたうえで、回転が完全に止まった後に、雪かき棒を使って取除いてください。                              |
|                                        | 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。       |                                        | 滑りにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。                                                                                |
|                                        | 可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。 |                                        | 坂道の走行には注意してください。                                                                                                        |
|                                        | エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。        |                                        | 後方へ走行するときは、足元及び背後の障害物に十分注意し、転倒したり障害物に挟まれないように運転してください。                                                                  |
|                                        | 走のような操作はしないでください。                   |                                        | 除雪時は操作に集中し、特にバック時は、滑らないよう足元にご注意ください。                                                                                    |
|                                        | 滑りやすい表面上では、高速で除雪機を運転しないでください。       |                                        | 除雪機を輸送したり、使用しない時、停止するときは、オーガハウジングを接地させてください。                                                                            |

## 各部の名称

※写真はプロトタイプのため、本製品とは若干形状が異なります。



# 梱包部品一覧

- 1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
- 2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
- 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

!

警告

部品が不足している場合は、入手するまで使用しないでください。

A. 本体  
雪かき棒

B. シュータ

C. 工具★  
C-1  
C-2  
C-3

D. シュータハンドル

E. プラグレンチ

F. 緊急停止キー  
(セーフティーキー)

※写真はプロトタイプのため、本製品とは若干形状が異なります。

★付属の工具は、簡易的なものです。市販のスパナ等をご用意いただくと作業効率が良くなります。

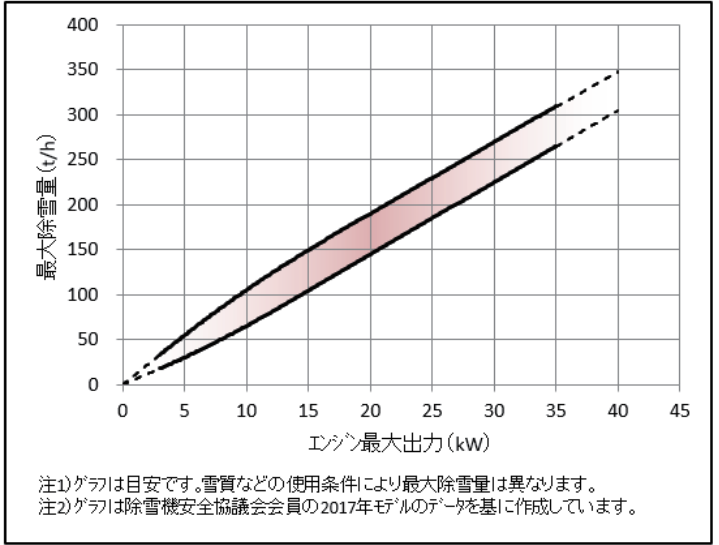
## 主要諸元

|        |                 |
|--------|-----------------|
| モデル名   | HG-K8718        |
| 除雪幅    | 460mm           |
| 除雪高    | 270mm           |
| ブロワ周速  | 30m/s           |
| 投雪方向   | 190°            |
| 投雪距離   | 最大 8m           |
| 走行     | 手押し             |
| エンジン型式 | Loncin LC154F-1 |

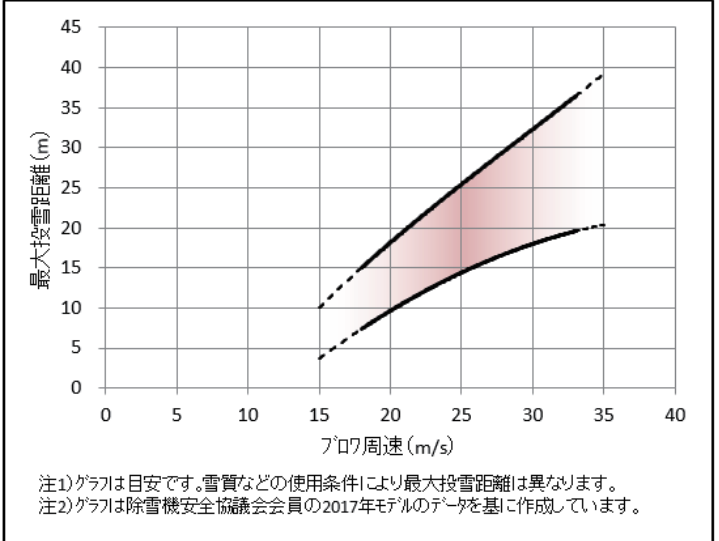
|                  |                                     |
|------------------|-------------------------------------|
| 馬力               | 2.2PS                               |
| 総排気量             | 87cm <sup>3</sup>                   |
| エンジン出力           | 2.0kW                               |
| 始動方法             | リコイルスターター                           |
| シュータ態状           | 手動ハンドル（シュータ）                        |
| 操作ハンドル           | 両手                                  |
| 使用燃料             | 無鉛レギュラーガソリン                         |
| 燃費（1L 当たり）       | 約 90 分                              |
| 燃料タンク容量          | 1.6L                                |
| エンジンオイル          | SAE 5W-30                           |
| エンジンオイル容量        | 0.35L                               |
| 駆動タイヤ            | プラスチックタイヤ                           |
| 重量               | 26kg                                |
| サイズ<br>(幅×奥行×高さ) | 470 × 960 × 980mm<br>(ハンドルレバーまでの高さ) |

◎弊社は、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

### 【最大除雪能力】



### 【最大投雪距離】



# 組立て

## ⚠警告

- ・緊急停止キーを抜いてから、作業を行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付けられていることを確認してください。

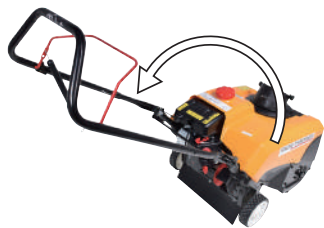
## ⚠注意

作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。

★付属の工具は、簡易的なものです。市販のスパナ等をご用意いただくと作業効率が良くなります。

### ハンドルの取付け

- 1 ロッキングレバーを写真のように解除し、上ハンドルを起こします。



- 2 下ハンドルにあるピンに上ハンドルの穴を合わせます。穴は3カ所ありますので、ハンドル操作しやすい左右の穴位置にピンをはめ、ロッキングレバーで固定します。

## ⚠注意

左右の穴位置にピンをはめてからロッキングレバーで固定してください。また、レバーの先端のみに力を加え固定しようとすると、レバーが折れることがありますので、レバー全体を押すようにしてください。

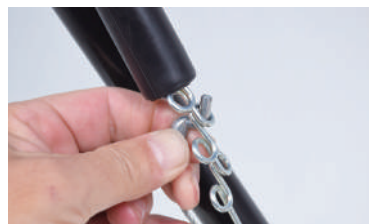
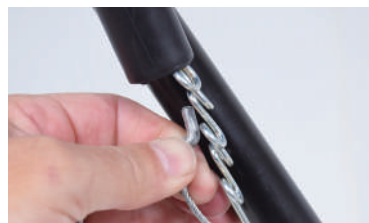


### 除雪クラッチワイヤの取付け

- 1 除雪クラッチレバーより出ている取付リングの一番下の穴に、ワイヤを引上げながらの先端のフックを通します。



- 2 ワイヤ先端のフックを下から4つ目、上から3つ目の穴に通します。



- 3 保護チューブを下げ、リング部分を保護します。



## シュータの取付け

- 1 本体のシュータ取付部の3カ所のノブナットを一旦取外します。



- 2 ワッシャを回しながら外側にずらしします。これを3カ所行います。



- 3 ボルトを内側に押込みます。



- 4 3カ所のボルトにシュータの取付穴を合わせ、はめ込みます。



- 5 同じくシュータハンドルもはめ込みます。



- 6 3カ所のボルトを内側から外側に押込みます。



- 7 本体のシュータ取付部のボルト穴の内側は、四角い回り止めの切り欠きになっています。切り欠きに合わせてボルトを押込みます。



- 8 ノブナットを取付けて、締付けます。



- 9 シュータハンドルを回し、シュータが動くことを確認してください。

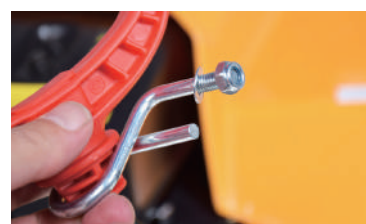


## リコイルスターターガイドの取付け

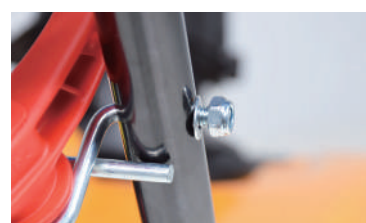
- 1 緊急停止キー（セーフティーキー）を抜き、リコイルスターターを引き出します。



- 2 リコイルスターターガイドのナット、ワッシャを取外し、ハンドルの穴に挿込みます。

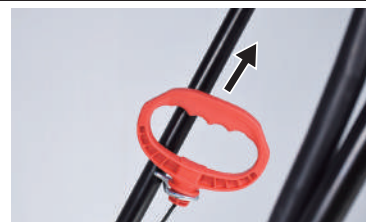


- 3 ワッシャ、ナットを取付け10mmのスパンで締付けます。



## リコイルスターター

リコイルスターターでエンジンを始動します。



- 1** リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真っすぐ引張ります。エンジンがかかるまで、数回繰り返します。

## ⚠注意

- ・リコイルスターターロープを最後まで引出さないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。
- ・運転中はリコイルスターターハンドルに手を触れないでください。

### シュータデフレクタ

- 1** シュータデフレクタのノブナットを緩め投雪角度を調整します。調整が終わったらノブナットを締めます。



### シュータハンドル

シュータハンドルを回すことで、投雪方向を190°の範囲で調整することができます。



### 除雪クラッチレバー

オーガを回転させる時に両手で握ります。

除雪クラッチレバー



### レバーを握る

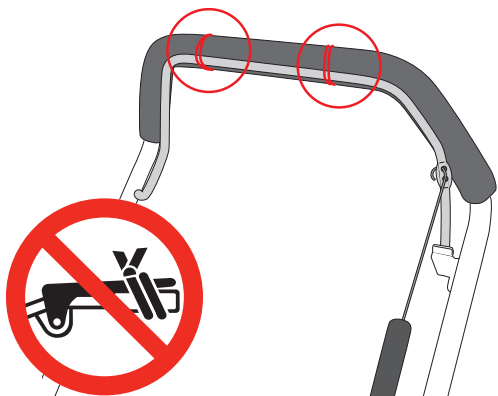
オーガが回転します。

### レバーを放す

オーガが停止します。

## ⚠警告

除雪クラッチレバー（デッドマンクラッチ機構）を紐やクランプ等で固定することは絶対にやめてください。重大な事故に繋がります。



## 各部の取扱い

### 緊急停止キー(セーフティーキー)

緊急時には「緊急停止キー(セーフティーキー)」を抜くことでエンジンを停止させることができます。「緊急停止キー(セーフティーキー)」を操縦者のベルトなどに紐で繋いでおくと、万が一の転倒などの際にキーが抜け、エンジンを停止させます。



### チョークレバー

エンジンが冷えているときは、チョークマークに合わせます。



## ⚠注意

エンジン始動後は、チョークマークに戻してください。

### 燃料ポンプ

## ⚠注意

押しすぎるとエンジンが始動しません。

燃料ポンプを2～3回軽く抵抗を感じる程度まで押すことで、燃料をキャブレターに行きわたらせます。(初回のみ)



### 雪かき棒

オーガやシュータに詰まった雪や付着した雪を取除く時に使用します。



## ⚠注意

回転部に詰まった雪や付着した雪を取除くときは、緊急停止キー(セーフティーキー)を少し引くか、引抜きエンジンを切り、各部が完全に停止してから行ってください。

# 運転前の点検

⚠️警告

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>🚫禁止</div> | <ul style="list-style-type: none"><li>エンジンが熱いうちは、給油しないでください。</li><li>燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。</li><li>運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。</li></ul>                                                                                                                                                                                                            |
| <div>❗強制</div> | <ul style="list-style-type: none"><li>燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。</li><li>燃料をこぼさないように注意してください。燃料タンクの所定のレベルを超えて補給しないでください。</li><li>燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。</li><li>燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。ハイオクガソリンは使用しないでください。</li><li>燃料キャップは確実に締めてください。</li><li>長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のない所に保管してください。</li><li>給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。</li></ul> |

エンジンオイルの給油

工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。  
下記要領で給油してください。

1 エンジンオイルを準備します。

|       |           |
|-------|-----------|
| 推奨オイル | SAE 5W-30 |
| オイル容量 | 0.35L     |

2 本体を水平な場所に移動させます。

3 オイル給油キャップを取外し、オイルゲージを布などで拭取ります。

4 エンジンオイルを注入します。

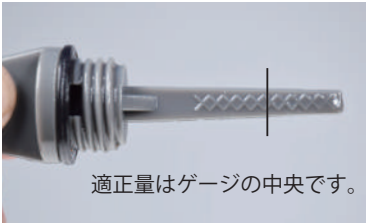
⚠️注意

エンジンテストを行っているため、多少オイルが残っている場合があります。オイルゲージを確認しながら少しずつ給油してください。

5 オイル給油キャップを取付けて一旦締付けた後、再度取外します。



6 オイルがオイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



7 確認後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。

8 使用2回目以降は、運転前に必ずエンジンオイル量と汚れを点検してください。

燃料の給油

工場出荷時、燃料は入っていません。  
下記要領で給油してください。

1 燃料を準備します。

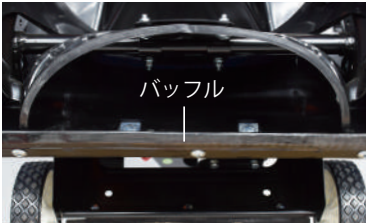
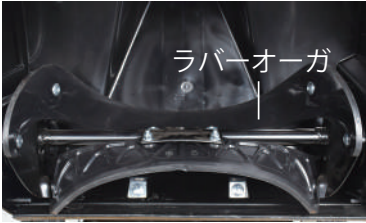
|       |             |
|-------|-------------|
| 使用燃料  | 無鉛レギュラーガソリン |
| 燃料タンク | 1.6L        |

2 燃料給油キャップを開け、燃料の液面を見ながら給油します。



ラバーオーガ、バッフルの点検

ラバーオーガやバッフルに凍結や曲がり・変形・欠け・摩耗がないかを点検します。



除雪クラッチレバーの点検

エンジン始動後、除雪クラッチレバーを操作し、オーガが正常に「回転」・「停止」するか点検します。



レバーを握る

オーガが回転します。  
※レバーを握っても回転しない場合は、ワイヤの調整が必要です。

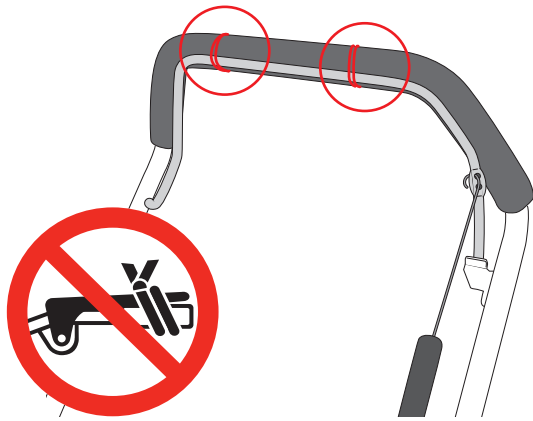
## レバーを放す

オーガが停止します。

※レバーを放しても停止しない場合は、ワイヤの調整が必要です。

### 警告

除雪クラッチレバー（デッドマンクラッチ機構）を紐やクランプ等で固定することは、絶対に行わないでください。重大な事故に繋がります。



### 警告

レバーを握る際は、両手で行ってください。

#### ●レバーを握っても回転しない

ワイヤフックをリングから一旦取外し、1 つ上のリングに付替えます。



#### ●レバーを放しても停止しない

ワイヤフックをリングから一旦取外し、1 つ下のリングに付替えます。



## シュータの点検

シュータデフレクタのノブナットとシュータレバーを操作し、不具合がないか点検します。



## 各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。

ボルト、ナット等の緩みであれば締付けます。

不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

### 警告

不具合があったまま使用しないでください。  
重大な事故に繋がります。

## 各部の異音の点検

エンジン始動後、エンジン、その他の部位から異音がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

### 警告

異常を感じたまま使用しないでください。  
重大な事故に繋がります。

## 排気状態の点検

エンジン始動後、排気に異常がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

### 警告

異常を感じたまま使用しないでください。  
重大な事故に繋がります。

## グリス・潤滑油の塗布

本機の使用後は回転部分・撓動部を清掃し、グリス潤滑油を塗布します。

※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。

※「シュータの点検」以降の詳細はWEB取説をご覧ください。

[illegible]

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がありますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

## 1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

## 2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

## 3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

## 4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

## 5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺いし、お手続方法をご案内させていただきます。

## 6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
  - ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
  - ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
  - ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
  - ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
  - ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。
- また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
  2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
  3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
  4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
  5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。